



奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 20

ご挨拶

教授 緒方奈保子



皆様いかがお過ごしでしょうか？

相変わらず COVID-19 の報道が毎日行われ、第3波の影響が報じられています。

奈良県下の感染者も現在増加傾向で、医療機関でのクラスター発生が懸念されています。

海外への渡航は実際のところほぼ不可能となり、GoTo トラベル、GoTo イートのキャンペーンをご利用になった方も多いかと思います。確かに日本の良さを見直す良い機会でもあったかと思えます。海外からの旅行者が少ないので、観光客が多いとは言い

ながらも十分に近場で楽しめるところが多いことに気づきます（写真1：高台寺の紅葉ライトアップ、写真2：琵琶湖バレイ）。

今年1年は世界中が COVID-19 に振り回されました。

社会全体の活動、日常生活だけでなく私たちも診療行為、学生講義や学生実習など影響は大きかったと思います。学会や研究会、講演会がほぼ Web になりオンデマンドの配信も多くありました。オンデマンドの配信は期間中いつでも見られてそれなりに便利なことにも気づきました。今後はこのような学会、講演会の配信の仕方が継続して続いていくと思われま

す。今、当科は専攻医1年目が4人頑張って研修を積んでくれています。リアルの講演会、学会等へ参加の機会が少なくなった分、Web やオンデマンドの講演会を十分に活用して欲しいと思っています。

12月はじめに長年の懸案であった臨床研究棟から新しい研究室の引っ越しが行われます。今までの臨床研究棟は昭和30年代の建物で老朽化が著しく、耐震基準も満たさず補強工事もできない、もし大規模震災があったら奈良医大の多くの医師の生命が失われるということで、移転した病棟内に新たに各科の医局研究室



（写真1：高台寺の紅葉ライトアップ）



が改装されました。少し狭くはなるのですが、新しい研究室で新たな研究が発展すれば、と願っています。

緊急事態宣言からしばらくは手術も制限され、病棟利用率も制限されました。これからは with コロナの時代、次第に元に戻すべきところも多くあると思いますが、このままの状態が続くところも多いと思われま。COVID-19 感染に対して十分な配慮と予防に引き続き努めていきましょう。

(写真2：まるでウユニ塩湖のような琵琶湖バレイ)

異動の報告

竹内先生が南奈良総合医療センターに、伴先生が西和医療センターに、藤原先生が大和郡山病院に異動しましたので挨拶をして頂きます。



竹内崇（南奈良総合医療センター 眼科）

8月から南奈良総合医療センターに赴任しました、竹内崇です。ひとり常勤として勤務するのは初めてですが、非常勤の先生方やスタッフの方々に助けていただきながら日常の業務にあたっております。

異動から約4ヶ月経ち、徐々に慣れつつあります。日々精進して参りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



伴裕美子（奈良県西和医療センター 眼科）

本年8月より西和医療センターに赴任いたしました。

まだまだ未熟者ではございますが、地域医療に貢献できるよう日々精進していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



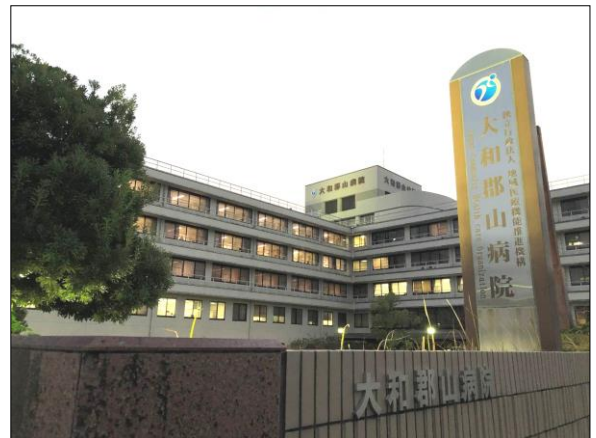


藤原克彦（大和郡山病院 眼科）

小島先生の後任として2020年10月より大和郡山病院の常勤として赴任させていただきました。

今まで奈良県立医科大学附属病院で研修させていただき、大学を離れるのは今回がはじめてになります。10月末頃から白内障手術を開始し現在週に4～5件程度施行させていただいており、今後徐々に件数を増やしていきたいと考えております。

まだまだ未熟ではございますが、新たな職場においてなお一層精励する所存ですので今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



（大和郡山病院 正面から）



水澤裕太郎（奈良県立医科大学 眼科学教室 助教）

2020年8月1日に大阪はびきの医療センターより大学に戻ってまいりました、裕太郎やっтарう！皆様ご存じの水澤裕太郎でございます！

どーしても戻ってきてほしいとの上田准教授の要望を受け、後ろ髪をひかれる思いで大阪を後にいたしました。（「本人の思い込みです。」上田准教授談）

学生や視能訓練士の講義を担当することで、日々教員としての自覚も芽生えてまいりました。時に厳しく、常に厳しく後輩を立派に育てることをここに誓います

ので、皆様温かく見守ってください。どうぞよろしくお願いいたします。



学会の報告

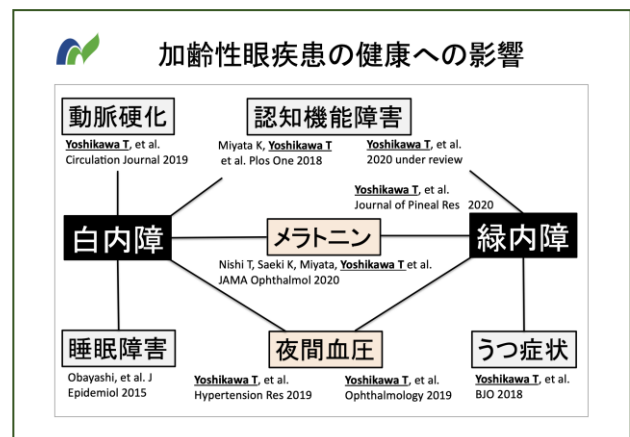
吉川先生が白内障学会、緑内障学会に、慶田先生が小児眼科学会に、寺田先生が神経眼科学会に、和田先生と西山先生が臨床眼科学会に参加されましたので報告させていただきます。

第59回日本白内障学会 学術賞記念講演および 第31回日本緑内障学会にてシンポジウム講演を行いました

吉川 匡宣

2020年5月に Web 開催された第59回日本白内障学会で日本白内障学会学術賞記念講演「白内障が健康へ及ぼす影響：生体リズムに着目した疫学研究」を行いました。我々の研究成果に基づいて白内障が視機能障害だけでなく、生活の質に深く関与する認知機能障害、動脈硬化、夜間血圧へ影響する可能性について講演を行いました。なお本受賞記念講演の内容は医学新聞「メディカルトリビューン」に取り上げられインターネット配信および誌面で紹介されました (<https://medical-tribune.co.jp/news/2020/0622530688/>)。

2020年10月に Web 収録された第31回日本緑内障学会においてシンポジウム9「眼外の因子から緑内障を考える」で生体リズムと緑内障の関連について講演を行いました。緑内障診療や研究では眼圧や OCT 所見などの眼内因子に注目される先生が多いかと思えます。しかし眼圧が十分下降しているにも関わらず視野が悪化する症例に出会うこともあり、一部の症例では眼外因子が緑内障に影響を及ぼしている可能性があります。また緑内障は視野障害を引き起こすだけでなく、睡眠障害や心血管疾患などの全身疾患と関連していることも報告されています。したがって緑内障と眼外因子は相互に影響を及ぼしている可能性があります。このメカニズムを説明するキーワードとして「生体リズム」に着目して、我々の研究成果である緑内障と夜間血圧上昇やメラトニン分泌低下との関連を中心に講演を行いました。



第46回日本小児眼科学会

慶田 真喜子

2020年7月に行われた日本弱視斜視学会にて、脳幹出血後の外転神経麻痺に対して西田法を施行した6歳女児の症例について発表させていただきました。本来であれば、同年6月に大阪国際会議場での学会開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響でWeb開催での発表となりました。例年とは異なる状況の中、緒方奈保子教授や西智先生をはじめとする様々な先生方のご指導のもと、無事発表を終えることができたことを深く感謝申し上げます。今回の発表を通して、小児眼科や斜視診療についても大変興味深く感じる事が多く、今後もさらに理解を深め、日々の診療に役立てられるように精進していきたいと思えます。

第58回日本神経眼科学会

寺田 拓真

2020年10月に日本神経眼科学会にて、両鼻側視神経低形成を10年間観察できた症例についてポスター発表させていただきました。緒方奈保子教授、西智先生、治村寛信先生をはじめ、様々な先生のご協力のもと、多大なるご迷惑をおかけしながらも、なんとか無事に発表を終えることが出来たことを深く感謝しております。発表では今回、コロナの影響も有り現地開催は行われず、直接的な交流は出来なかったものの、リモート発表というこれまた貴重な体験ができました。リモート発表というものが懐かしく思える日を願いつつ、今回の経験を今後の臨床生活に生かしていけるよう日々精進の生活をしていきたいと思えます。

第74回日本臨床眼科学会

西山 武孝

2020年11月5日から25日まで開催の第74回臨床眼科学会に参加し、「術中光干渉断層計(OCT)併用で傍中心部角膜穿孔に層状角膜移植術を施行した一例」という演題で症例報告をさせていただきました。術中OCTを併用することで、外傷やリウマチ性角膜穿孔等の緊急手術症例に対する手術において、術後成績の向上を図ることができる可能性があるという趣旨の1例報告でした。

今回の臨床眼科学会は昨今の新型コロナウイルス感染症流行の状況もありウェブでの開催となっしまい、私も発表データを事前に録音して投稿という形での参加となりましたが、ウェブ上で発表に対する反応もいただき、少しではありますが学会に参加する臨場感を感じることができました。

今後もしばらくは学会もウェブ開催が主流になるのかと思われませんが、その中で少しずつでも研鑽を積んでいくことができればと思えます。

第74回日本臨床眼科学会

和田 大史

専攻医1年目の和田と申します。

平素より諸先生方にご指導賜り厚くお礼申し上げます。

11月に臨床眼科学会で、ウェブ上ではありますが、猫ひっかき病の症例報告をショートトークで行う機会を頂きました。またその症例報告を無事投稿することもできました。初めての執筆でしたが、緒方先生、西先生に丁寧にご指導頂き投稿できたことを感謝しています。

市立奈良病院での研修を終え、また12月から大学病院で研修させていただきます。引き続き諸先生方にはご指導ご鞭撻宜しくお礼申し上げます。

はじめての英語論文掲載

伴先生の論文がアクセプトされましたので、ご報告頂きます。

Case of primary intraocular lymphoproliferative disorder caused by Epstein-Barr Virus.

Ban, Y., Okamoto, M. & Ogata, N.

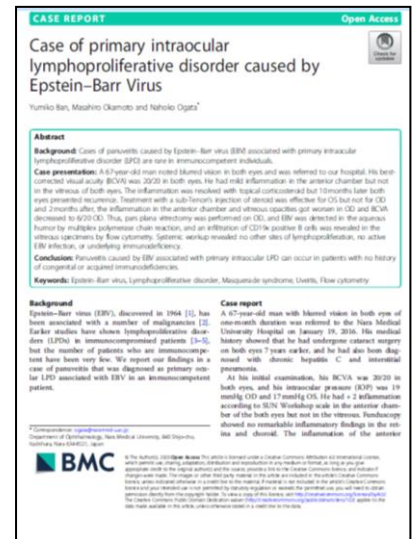
BMC Ophthalmol 20, 306 (2020).

伴 裕美子

眼限局 EBV 関連リンパ増殖症の 1 例についての Case report が BMC Ophthalmology に掲載されましたのでご報告させていただきます。

免疫不全に伴う眼限局 EBV 関連リンパ増殖性疾患は以前より報告がありました。本症例は免疫不全に至るような全身合併症を伴わない眼限局 EBV 関連リンパ増殖性疾患であり非常に稀であります。

また、本症例では硝子体の細胞診やフローサイトメトリーと併せて前房水のヘルペスウイルス PCR を行ったことがリンパ腫の原因の解明に繋がりました。



開業のご案内

令和 2 年 11 月 1 日に大和郡山病院で眼科部長をしておられた小島正嗣先生が、大阪府箕面市でこじま眼科を開業されましたので、ご紹介させていただきます。

この度、令和 2 年 11 月に大阪府箕面市で眼科クリニックを開業致しました小島です。

開業するにあたり、緒方教授をはじめ医局の先生方にご迷惑をおかけすることになるにも関わらず、皆様に快く開業を歓迎していただいたことに深く感謝を申し上げます。

岐阜県に生まれ、高校卒業後すぐに、全く縁もゆかりもない奈良に来ていつの間にやら 27 年。まさに第二の故郷となった奈良をいよいよ離れることとなり、大きな寂しさを感じています。平成 13 年に奈良医大を卒業し、奈良医大眼科に入局し原前教授の元で眼科医として歩み始めて 20 年。諸先輩方や後輩達と過ごした日々は、いろいろ大変なこともありましたが、今となっては全てが良い思い出となっています。素晴らしい人達に恵まれ支えて頂いた経験が一番の財産です。



(写真 1：小島正嗣)

開院してようやく一か月が経とうとしています。これまでは、常に周りに頼り、与えられた環境の中で、受動的に仕事をこなしていました。これからは自分が選んだ場所、機械、スタッフと共に院長としてクリニックを運営していかなければいけません。その責任の重さに苦しみながらも、自分のやりたい医療を全力でやることのできるやりがいと幸せを感じながら頑張っています。

この箕面の地で、奈良医大眼科の看板に泥を塗らないよう全力で地域医療に貢献していきます。近くにお越しの際はぜひ『こじま眼科』へ来てください。来ていただいた方には数量限定 マサシ・コジマ デザインのオリジナルエコバッグをさしあげます！



(写真2：クリニック待合)

今後の予定

2021年12月5日(土)	奈良県立医科大学眼科冬の同窓会	WEB講演
	特別講演「緑内障道場 治療の一手御指南」	
	広島大学病院 病院長 広島大学眼科学教室 教授 木内 良明 先生	
2021年5月15日(土)	第20回奈良県眼科万葉フォーラム	THE KASHIHARA
2021年5月29日(土)	第5回NORSの会	大阪マリオットホテル
2021年8月26日(木)	第8回奈良県眼科まほろばフォーラム	日航奈良ホテル
2021年7月4日(日)	奈良県立医科大学眼科夏の同窓会	未定

新型コロナウイルス感染症の影響で、延期となったいくつかの研修会を再企画しております。感染状況を注視しながら、皆様に安心して参加していただけるように準備してまいります。医師はもちろんのこと、研修医・ORTの皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは、教室ホームページをご覧ください。

外来診察表

		月	火	水	木	金
1診	午前	西	上田	吉川	緒方	手術日
	午後	小児・神経眼科外来	網膜硝子体外来	緑内障外来	網膜硝子体外来	専門外来
2診	午前	後岡	大熊（第1・3）	手術日	小林（第1・3・5）	手術日
	午後	網膜硝子体外来	小児・黄斑外来	専門外来	峯（第2・4）	専門外来
3診	午前	水澤	治村	手術日	辻中	手術日
	午後	網膜硝子体外来	網膜硝子体外来	専門外来	角膜外来	専門外来
4診	午前	寺田	中尾	手術日	水澤（第2・4）	手術日
	午後		中尾	専門外来	網膜・ぶどう膜外来	専門外来
5診	午前		岡部	手術日	平井	手術日
	午後		岡部	専門外来	角膜外来	専門外来
6診	午前		慶田、和田		西山	
	午後					

- ・ 専門外来は完全予約制です。
- ・ 初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・ 地域連携の予約は月が6名、火・木が8名、水・金は5名可能となっております。

編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターは、今回で20回目の発行となりました。ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。先生が日頃感じておられることや、趣味のお話など、どのような内容でも結構です。

ご投稿、ご質問などは下記メールアドレスまでよろしくお願い致します。

tomon@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 西 智

